

2023年  
7月



# ちばさぽ通信 Vol.56

子どもだからできる 子どもにしかできない



## CONTENTS

### ● 事業&活動報告

- 千葉市民活動フェスタ2023実行委員会
- ちばボランティア塾

### ● ミニコラムちばさぽの風 Vol.56

### ● 登録団体活動紹介コーナー

### ● CatchUp

### ● ちばさぽからのお知らせ

- セルフカフェコーナー再開
- 利用案内
- 市民活動ステップアップ講座
- 運営協議会開催

### ● ちばさぽ玉手箱

#### 表紙の団体紹介

#### 千葉市こどものまちCBT実行委員会

実行委員会が毎年8月に実施する「千葉市こどものまちCBT」は、開催前の企画段階から、子どもが主体的に関与し、子どもたちだけの市役所をはじめ、お店や会社などを運営する「ごっこ遊び」の集合体として「まち」を運営します。



編集・発行

## 千葉市民活動支援センター

指定管理者：特定非営利活動法人まちづくり千葉

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1

千葉中央ツインビル2号館9階

TEL：043-227-3081 FAX：043-227-3082

Mail：info@chiba-npo.net

Web：https://chiba-npo.net/

Facebook：https://www.facebook.com/chibasapo



#### 〈開館時間〉

平日・土曜  
午前9時～午後9時

日曜・祝日  
午前9時～午後6時

#### 〈休館日〉

年末年始  
(12月29日～1月3日)



# 事業&活動報告

## 千葉市民活動フェスタ2023 実行委員会進捗状況のご報告

「千葉市民活動フェスタ」は、千葉市における市民活動団体の交流・連携を深めるとともに、活動内容をPRして活動の推進を図ることなどを目的に、年一回開催しているイベントです。



今年4月に実行委員会を始動。6名の委員の皆様を中心に、企画・運営について議論を重ねています。これまでに決定した主な点は、以下のとおりです。

○テーマ：今年は **二刀流**  
**ヴォイドde交流・きぼーるdeマルシェ**

### ○実施内容の概要：

- ・市民活動団体等の交流会の開催
- ・市民活動団体等による体験・相談・販売等の実施
- ・特設ウェブサイトによるオンラインコンテンツの発信

### ○開催日程・会場：

- ・2023年11月11日(土) 千葉市役所市民ヴォイド
- ・2023年11月18日(土) きぼーるアトリウム  
(※特設ウェブサイトは11月5日から公開予定。)

2020年以降、オンラインを中心とした内容が続いていたフェスタですが、今年は「対面を基本とし、オンラインも活用する」という考え方で具体的な実施内容を検討中です。参加団体の募集要項などは、次号のちばさぼ通信でご案内できる見込みですので、どうぞお待ち願います。

## ちばボランティア塾第2期進行中！第3期募集開始

「ちばボランティア塾」とは、現在ボランティアをしている方、これからボランティアをしてみたいと思っている方に向けて基礎的な事項を学んでいただく講座で、内容は障害者や外国人とのコミュニケーションや情報共有とSNSなど。現在、第2期全6回の講義の3回目が終了しました。



第3期は10月12日に開講、計6回で修了するカリキュラムです。一度は受けてみてほしい内容で構成されていますので、興味がある方は是非ご参加下さい。

日程▶2023年10月12日(木)から2023年12月21日(木)

時間▶19時から20時30分

会場▶千葉市民活動支援センター会議室

定員▶18名(お申込み先着順) 参加費▶無料

※15歳以上の方ならどなたでも参加できます。

## Q&A Q:ちばさぼ内での飲食はできるようになりましたか？

現在、「会議室」と「談話室」ご利用時の各室内での飲食はともに可能となっております。両室内ではお飲み物と茶菓子など軽食の他、お打ち合わせ後にお弁当を食べながら懇親をするなどのご利用も可能となりました。ご利用やサービスの一部制限期間中は、ご不便をおかけいたしました。ご協力下さりありがとうございました。ボランティアテーブルと活動サロンはお飲み物が可能です。セルフカフェコーナーも再開いたしましたのでご利用ください。



## ミニコラム

# ちばさぼの風 vol.56 SDGsについて改めて基本から part 1

## ■ はじまりは8つの課題

SDGsというと、あの17色のリングを思い出しますが、その前段階がありました。そもそもの始まりは西暦2000年。21世紀を目前に、国連は新たな世紀(ミレニアム)に向けて、「国連ミレニアム宣言」を発表。これを受けて2015年までに達成すべき国際社会共通の目標として「ミレニアム開発目標」(MDGs)が示されたのです。

## ■ MDGsの8つの目標

1. 極度の貧困と飢餓の撲滅
  - ・1日1.25米ドル未満で生活する人を半減。飢餓を半減。
2. 普遍的初等教育の達成
  - ・すべての子どもたちに、男女の区別なく初等教育を。
3. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
  - ・すべての教育レベルにおける男女格差を解消。
4. 乳幼児死亡率の削減
  - ・5歳未満児の死亡率を3分の2減少させる。
5. 妊産婦の健康の改善
  - ・妊産婦の死亡率を4分の3減少させる。
6. HIV/エイズ、マラリアその他の疾病の蔓延防止
  - ・HIV/エイズ、マラリア、その他の主要な疾病を阻止。



## 7. 環境の持続可能性の確保

- ・安全な飲料水と衛生設備を利用できない人々を半減。
- ## 8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進
- ・民間も協力し情報・通信分野の新技术を普及。

## ■ 残された課題

2015年の時点では、解決すべき多くの問題が残りました。**【貧困と飢餓】** 極度の貧困は残り、地域格差、性差も未解決。**【初等教育】** アフリカに多い未就学児童。半数以上が女の子。途上国では収入による就学の差も問題。**【ジェンダー】** 初等教育における男女の差は未解消。**【乳幼児死亡率】** 予防できる病気で死亡する子がまだ多い。**【妊産婦の健康】** 妊産婦死亡率の地域格差が大きい**【疾病の蔓延防止】** 性差による感染の不利、知識の未普及。**【安全な環境】** 清潔な水とトイレの普及がまだ不十分。**【情報技術】** インターネット普及にも地域や収入の格差。

## ■ MDGsからSDGsへ

MDGs最終年の2015年9月25日、問題解決のための新たな指標として、17の目標を定めた『持続可能な開発目標(SDGs)』が、国連総会で採決されました。

“誰ひとり取り残さない”を重要な柱とするSDGsについては、次回の記事で。

※本稿はunicefのサイトを参考にしました。 <https://www.unicef.or.jp/mdgs/>

## 登録団体活動紹介コーナー

### 千葉市生活デザイン研究会

活動エリア▶千葉市内  
所在地▶千葉市  
連絡先▶megu\_river@yahoo.co.jp  
担当者名▶河井(かわい)

1997年6月に千葉市内に住む消費生活アドバイザー有資格者で消費者団体NACSの会員を中心に結成されました。消費者問題に関する勉強会を企画開催しています。千葉市の消費者応援団体として登録をしています。弱者である身近な高齢者の見守り活動をし、消費者被害があれば助言をし、千葉市消費生活センターへとつなぎます。会員は消費者センターの現・元相談員や事業者団体の相談員などで、平日の集まりが無理なため、定例会は月一回土曜日に開催しています。



### OPENちば

活動エリア▶千葉県内  
所在地▶千葉市  
連絡先▶open\_chiba@yahoo.co.jp  
担当者名▶舩澤(ますざわ)

障がい者スポーツを『知ろう、観よう』と呼びかけています。あらゆる人がパラスポーツを楽しめる機会づくりをしています。パラスポーツに親しんで頂けるイベントの主催や競技大会の応援ツアーを行います。



### ちば夜間中学をつくる会

活動エリア▶千葉市(通えればどなたでもいらしてください)  
所在地▶千葉市美浜区高洲  
連絡先▶090-8080-3951 bookaholic873@gmail.com  
担当者名▶宮田(みやた)

千葉市に公立夜間中学設置を願って「ちば自主夜間中学」を開校して5年、今年4月に「千葉市立真砂中学校かがやき分校」が開校し、目標が叶いました。しかし毎日通学できない方や、海外から来て日本語を学びたい方などが、自主夜間中学に来校しています。多様な学びの場のニーズが必要とされています。週1回、学習者・スタッフあわせて50名ほどの教室と、zoomでの学習会を開いています。

#### ちば自主夜間中学

だれでも、いつからでも、学べます  
学びたい人、教えない人、見えない人、雇えない人

＜開校日＞ 木曜日 6月1日/8日/15日/22日  
7月6日/13日/20日/27日  
18日(17:30~19:20) 20日(18:30~19:20) 21日(19:25~19:30)  
※平日の日は、月に1回程度です。 ※夜間や夜明けと通学はできません

＜開校＞ 高洲コミュニティセンター 2階 講習室ほか  
千葉県美浜区(高洲)12-1 千葉県立真砂中学校  
※2024年4月、200㎡の新校舎が完成予定です。

＜内容＞  
「カリキュラムは生徒の教だけ」  
専科・通科・字力にかかわらず、それぞれの希望にあわせて決めています。

＜参加費＞ 無料

＜連絡先＞ ちば夜間中学をつくる会 <https://chiba-yachu.com/>  
たけうち 090(1837)2385 e-take@mob.biglobe.ne.jp  
みやた 090(8080)3951 bookaholic873@gmail.com

主催：ちば夜間中学をつくる会  
後援：千葉市教育委員会 (公認) 千葉県国際文化交流協会

### 防災・避難所運営マニュアルをつくる会

活動エリア▶千葉市とその周辺  
所在地▶千葉市  
連絡先▶090-7255-6296(ショートメールも可)  
担当者名▶すいとう いずみ

東日本大震災のあと、女性、子ども、障害のある人、高齢者、外国人など被災地で、困った人がたくさんいたと聞き、「配慮者への視点を入れた防災・避難所ノート」(タイトルも含め、2022年改訂版)を作成。一般にも役立つ情報が、わかりやすく、満載。これを資料として、公民館、自治会、子ども会、生涯学習センターなど、依頼のある所に出かけています。遠慮なく、声をかけてください。



## CatchUp

～登録団体の活動・事業の紹介～

### 「ちばし地域づくり大学校」令和5年度受講生募集のお知らせ

千葉市の主催で、令和2年度に初めて開講された「ちばし地域づくり大学校」。センターの登録団体でもある、認定NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)が企画・運営を受託し、今年度も開講されることとなり、8月10日まで受講生の募集が行われています。地域福祉活動・ボランティア活動の担い手や地域のリーダーとして活躍できるよう、座学や実地体験を通じて学ぶ講座で、内容の異なる3つのコースがあり、自分に合ったコースを選んで受講することができます。コースによって開催日・開催回数は異なりますが、令和5年9月から令和6年2月にかけて、全11~14回でカリキュラムが組まれています。

概要は右記のとおりですが、講座の内容や応募方法などの詳細は、特設ホームページをご覧ください。受託団体のNPOクラブまでお問合せください。

#### 1. 設置コース

入門コース、  
基礎コース(オンラインクラスあり)、  
ステップアップコース

#### 2. 受講要件

千葉市に在住、在勤、在学又は近郊の市に在住している18歳以上の方で、地域福祉活動・ボランティア活動に参加する意欲のある方

#### 3. 受講料

無料(※交通費、保険料(任意)は自己負担)

#### ○特設ホームページ

<https://chibasi-daigakko.studio.site/>

#### ○お申込み・お問合せ先 (NPOクラブ)

TEL: 043-303-1688

Email: npo-club@par.odn.ne.jp



# ちばさぼ からの お知らせ

## ■セルフカフェコーナー再開！

千葉市民活動支援センターが今の場所に置かれたのは2012年。千葉中央コミュニティセンターにあった「市民活動センター」と、千葉市民会館近くにあった「ボランティアズ・カフェ」が統合されて移転してきました。コーヒーでも飲みながらボランティア情報を身近に感じてほしい、というボランティアズ・カフェのコンセプトが、このコーナーには込められていたのです。コーヒー豆や砂糖を寄贈して下さる方も多く、皆さまに親しまれていましたが、コロナ禍でしばらく閉鎖となっていました。ようやく6月から、カフェが再開しています。



当面はティーバッグとインスタントコーヒーのみでスタート。カップの代金10円は以前と同じです。閉鎖中は水分補給の一助にと、小型ペットボトルのお茶と水を販売していましたが、このサイズが便利と好評なので、販売をこのまま続けます。チョコレート等フェアトレード商品の販売も予定していますので、皆さま、倍日の御贖罪をよろしくお願ひ申し上げます。

## ■「利用案内」をホームページからご覧いただけます

センターの主な設備の概要や、会議室等の予約方法、団体登録の要件などをまとめた資料「千葉市民活動支援センター利用案内」を作成しています。会議室等をご予約の際、利用希望日によっては抽選申し込みが必要となりますが、その詳細についても記載されています。利用案内はセンターにて配布している他、ホームページ(右下のQR)からダウンロードができますので、新規に団体登録を考えているという方や、登録団体だけれど予約方法がわからないといった方など、どなた様もどうぞご覧ください。

「利用案内を読んだけれどよくわからない」という点がございましたら、口頭やメールでのご質問にももちろん対応しますので、お気軽にお尋ねください。



## ■市民活動ステップアップ講座 「レゴを使ったワークでチーム作りを考える」

市民活動団体を運営していて、「チーム作り」に関する悩みを感じることはありませんか？そんな方におススメの、体験型の講座です。LEGO® Serious Play®の手法と教材を活用したワークを通じて、講師がチーム作りのヒントを導き出します。作品を紹介したり、他の参加者の話を聞いたりすることで、今まで気づかなかった自分自身の本質が見つかるかもしれません。楽しみながら参加できる講座ですので、どうぞお気軽にお申し込みください！



日 時 ▶ 2023年9月9日(土) 14:00~16:30

会 場 ▶ 千葉市文化センター会議室 2

(※千葉市民活動支援センターと同じフロアです。)

講 師 ▶ 影山貴大さん[J-doc company,LLC 代表社員]

定 員 ▶ 30名程度(お申し込み先着順) 参加費 ▶ 無料

## ■令和5年度第2回運営協議会開催のお知らせ

当センターを有益な施設とし、市民活動を活性化させるため、施設や事業の運営に関する助言や提案を頂く場として運営協議会を実施しています。今年も、より多くの方々からの意見をいただくため、委員の選任は行わず、運営協議会当日に集まった方々を委員とさせていただきます。

今回のテーマは「実施して欲しい講座や事業」。ちばさぼで実施すべき内容について意見交換をしたいと考えています。興味や意見がある方は、是非ご参加ください。

日 時 ▶ 8月3日(木) 19:00~20:00

会 場 ▶ 千葉市民活動支援センター会議室

テーマ ▶ 実施して欲しい講座や事業

定 員 ▶ 10名(申込み先着順)

参加費 ▶ 無料

対 象 ▶ 千葉市在住・在勤・在学・在活動の方

### ○お申し込み方法(すべての事業共通)

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TELにて、以下の項目をご連絡ください。

- ①事業名、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)、④連絡先(電話またはメール)、⑤所属団体(あれば)

## ちばさぼ 玉手箱 ネコのミーシャとおねえさんたち

障害のある人も、働いてお給料をもらって税金を払える仕組みをつくるのが本当の福祉社会。そんな話を易しく伝える絵本が、ちばさぼの書棚にあります。

猫のミーシャは子猫の時に、小さなレストランにもらわれてきました。ここにはエミさんとメグさんという二人のおねえさんがいて、二人のお母さんもそれぞれ遠くにいます。エ

ミさんは野菜やお皿を洗うのが上手だけれど、数えたりするのは不得意。でも分かりやすく説明してもらえば、きちんと準備ができます。メグさんは目が見えないけれど、スープ作りが上手。パソコンでロボットを動かして料理を運び、お客様とお話しもできます。「誰もがいきいきと働ける社会」の一例を、猫がほっこりご紹介。よろしかったらご一読ください。



## 編集後記

■各地で祭りが再開されています。千葉の親子三代夏祭りは4年ぶりの開催。団体活動にも弾みのつく夏になるといいですね。(や) ■髪を染めるのを辞めてる！とカミングアウト。コロナ明け、久々の友「染めない勇氣に乾杯！」そんな世代になりました。(ひ) ■6月早々、地震に台風、急な暑さ、、、厳しい夏になりそうです。(な) ■ちばさぼでは4か月先の利用予約ができます。予約方法については、ちばさぼHP「利用案内」をご覧ください。(よ) ■8月には「千葉の親子三代夏祭り」が久しぶりの開催！もうマンモスうれび〜♪(し) ■老眼が始まったようです。スマホの見過ぎは進行を早める原因になるそうなので、気をつけようと思います。(は) ■今年の夏は暑くなりそうです。暑い夏をどう楽しむか考えることも楽しいことかも(ふ) ■あじさいのきれいな頃となりました。個人的には、白色のあじさいを見かけるとオッ！と目が留まります。(り) ■今年こそ、妙見大祭で神輿を担ぎたいと思います！でも、無理は禁物、ケガをしないように注意します。(か)